



公益財団法人 環日本海環境協力センター様

日本海および黄海における海洋環境保全に寄与することを目的に、沿岸の各国・地域の機関と協力して各種調査研究や普及啓発・環境教育などの活動をしています。

導入事例 デジタル教材作成ツール「育〜る」

学習教材のデジタル化で、

海洋教育の質を向上する方法とは？

学習教材の利用促進を目指し、デジタル教材作成ツール「育〜る」を導入。利用者の興味を引く教材づくりと学習効果の向上を実現した事例をご紹介します。

取材協力
副主幹研究員 吉田 尚郁 様

導入事例
完全版を見る



課題

- ・海洋教育の普及に向けた利用者の増加
- ・教材受け取りにおける利用者の負担軽減
- ・教育のICT化への対応

効果

- ・ハイブリッド教材で学習効果の向上に
- ・Web配布で受け取りの負担ゼロ
- ・デジタル化で教育現場での活用促進に

ー検討のきっかけを教えてくださいー

当財団では海洋教育の促進のため、2年前から「トランクキット※」という学習教材を用意しています。教材を学校等へ貸し出し、教育実践に活用いただけていますが、もっと活用いただける教材にしたいと思い、検討を始めました。

ーどのような課題をお持ちでしたか？ー

利用者がトランクキットを借りる際、受け取りに負担がかかっていました。トランクキットを借りる際には、直接受け取りに行くか、送料を支払い宅配してもらうかを選べます。しかし、「時間がなく取りに行けない」「送料の負担は難しい」と利用を諦める方もいました。利用へのハードルが高かったのだと思います。

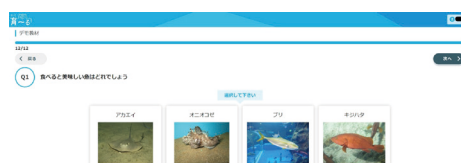
また、教育現場ではICT環境の整備が進み、1人1台端末を持っている時代です。教育現場の現状に合わせた、教材の改善が必要だと感じていました。

ー採用の決め手を教えてくださいー

「シンプルさ」です。教材は、写真や動画、説明文など複数のコンテンツを組み合わせて作り上げます。教材は当財団で作成する予定でしたので、簡単でスムーズに操作ができる点は魅力的でした。

ー工夫した点を教えてくださいー

子どもたちが楽しく学ぶことができるよう、クイズを取り入れました。構成は「説明→クイズ→解説」の流れで、最後に復習として活用できます。実際に授業を受けた子どもたちもクイズに積極的に取り組む様子が見られ、効果的で良かったです。また、ツールは簡単に操作できるので、利用者の要望に合わせたコンテンツ内容の変更にも対応しています。より満足いただける内容にできていますね。



デジタル教材クイズ画面

ー効果はいかがですか？ー

学習教材のデジタル化を実現することができました。トランクキットを借りる際の負担はゼロ。Webでのお申し込み後、お持ちの端末ですぐに利用できるようになりました。教育現場のICT化に対応し、今後の利用促進にもつながれたと思います。

また「トランクキット×デジタル教材」を組み合わせ、ハイブリッド教材もご利用いただけるようになりました。実物を見て、触れる学習とデジタル教材の学習が一体化。より効果的な海洋教育が実現でき、質向上にもつながりましたね。

ー今後、取り組みたいことを教えてくださいー

学習教材をもっとたくさんの方々にご利用いただけるよう、海洋教育の大切さや教材の存在を広めていきたいです。デジタル化で地域の限定が無くなったので、全国各地でご利用いただけると嬉しいです。

※ 富山湾概況図や紙芝居、学習カード、海洋ごみサンプル、生物標本などが入った教材セット

公益財団法人
環日本海環境協力センター
NPEC
〒930-0856
富山県富山市牛島新町 5-5
TEL 076-445-1571 / FAX 076-445-1581
https://www.npec.or.jp/

カンタンに ノウハウ継承できる 環境を整えませんか？

「育～る」で解決！

デジタル教材作成ツール「育～る」は、あらゆる業種の人材育成をご支援！

動画や画像、文章、クイズ、アンケートから構成される Web 教材をかんたんに作ることができます。「育～る」なら、いつでも・どこでも、かんたんに、ベテラン社員のノウハウを継承できる環境が整えられます。

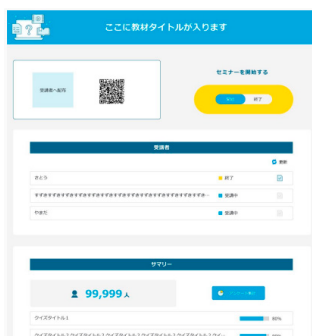
動画

画像
+
文章

クイズ

アンケート

※ YouTube 動画の ID 指定により、教材上で動画を表示できます



※管理画面では、受講者の進捗状況やクイズの正解率、アンケートの結果を閲覧できます。

アンケートに ご協力ください

新サービス
企画中！

最近、セキュリティ事故や自然災害が多発。企業にとって、万が一被害にあった際に、迅速に業務を復旧できる対策が喫緊の課題です。しかし、セキュリティ・BCP対策は、「IT担当者への負担が大きい」というお悩みもお聞きます。

そこで、IT担当者さまの負担を軽減できるよう、弊社ではITインフラ/セキュリティ対策に関する新サービスを企画中！少しでも現場に寄り添ったサービス内容にするため、アンケートを実施しています。貴社の貴重なご意見を、是非お聞かせください。

<主なアンケート内容>

- IT担当者が負担と感じている業務
- 社内利用者がIT担当者に期待する業務

アンケートに協力する



HCSのよこが

システム本部
Tech Strategy Lab

まつおか
松岡

こうたろう
広太郎 さん

Q. 業務内容を教えてください。

データサイエンスの視点から、データ活用に関する研究開発や技術検証を行っています。HCSにとっても新しい取り組みで、お客さまの課題解決のためにどのようなアプローチができるのか模索中です。最近、過去の在庫データをAIや統計学を用いて分析し、商品の需要を予測。発注量と発注時期の決定や、適正在庫の維持に有効活用する検証を行っています。

ゆくゆくは、お客さまに提供できる新しいソリューションを作ることが目標なので、ノウハウを吸収し、日々研鑽していきたいです。

Q. 趣味は何ですか？

ロードバイクです。今では乗り始めて約10年。休日には新湊や称名滝など、山から海まで走りに出かけていて、今年の夏は岐阜県の乗鞍岳畳平に行きたいと思っています。とにかく楽しくて大好きなので、これからも続けたいです。

編集後記

長かった梅雨も明け、まだまだ暑さの厳しい日が続きます。夏といえば、海水浴や花火大会、BBQなどを楽しむ方も多いのではないのでしょうか？体調には気を付けながら、夏を満喫しましょう。

さて、本号ではデジタル教材作成ツール「育～る」の活用事例をご紹介します。「育～る」は簡単にオリジナルの教材を作成可能。教育現場での活用はもちろんのこと、企業においても研修やセミナーなど、人材教育においてご活用いただけます。本号でご紹介した環日本海環境協力センター様のホームページでは、海洋教育のデモ学習教材が公開されています。ぜひ一度、ご体感ください。

(さわひらき)

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。
『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら→



全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/